

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習		選択	2	2	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕 他	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。またソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。さらにソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。</p> <p><概要> 社会福祉士と精神保健福祉士が身につけるべき知識、技術、価値規範、倫理について教授し、基本的に演習を行い、結果発表を通して互いに意見を共有しながら学習を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	テキストを中心に演習事例などに取り組み、グループ討議や個人での考察を行う。理解できなかったところや疑問点は、授業内での発言またはリアクションペーパーを活用して積極的に質問して欲しい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習 (共通科目) /編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版。				
参考書	2023 社会福祉士国家試験過去問 一問一答+a 専門科目編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	自己理解と他者理解について自己覚知することができる		HSU(1)、(3)、WP(3)		
②	ソーシャルワークの対象について自分の言葉で言語化できる		HSU(1)、(3)、WP(3)		
③	ソーシャルワークの価値規範と理念を踏まえたコミュニケーション能力を身につける		HSU(1)、(4)、WP(6)		
④	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割について言語化できる		HSU(1)、(2)、WP(5)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (受講時の約束、講義の進め方、成績評価他)を行う。ソーシャルワーク演習の意義と目的について学習する。	演習・GW	シラバスを読んで全体像を把握してくる。	4	
2	人と環境の交互作用について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
3	自己覚知 (自己理解と他者理解) について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
4	ソーシャルワークの対象について学習する。 小テスト①を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
5	ソーシャルワークの価値基準および倫理、理念①について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
6	ソーシャルワークの価値基準および倫理、理念②について学習する。 小テスト②を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
7	コミュニケーション技術 (言語的技術) について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
8	コミュニケーション技術 (非言語的技術) について学習する。 小テスト③を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
9	基本的な面接技術①について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
10	基本的な面接技術②について学習する。 小テスト④を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
11	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割①について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
12	ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割②について学習する。 小テスト⑤を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
13	ソーシャルワークの展開過程①について学習する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	
14	ソーシャルワークの展開過程②について学習する。 小テスト⑥を実施する。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

15	まとめ、フィードバックを行う。 面接技術試験について説明を行う。	演習・GW	教科書を読み、演習課題についての整理を行う。	4			
試	OSCE による面接実技試験を行う。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	10	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	10	0	0	0	15	25
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	15	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	2	0	0	2
	発表・表現伝達する力	15	0	5	0	0	20
	コミュニケーション力	20	0	0	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	3	0	0	3
	問題を発見・解決する力	5	0	0	0	0	5
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	OSCE（客観的臨床能力試験尺度）を用いた面接実技試験を実施する。試験は授業において学生が達成すべき行動目標に沿って取り組んだ演習をもとに事例を作成し、個別に面接場面のロールプレイを行ってもらい、適切な評価指標に基づいて評価する。	試験結果は、追って評価し公表する			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	「積極性（主体性）」・「協調性」・「役割の遂行性」の3つについて、①良く取り組んでいる（10点満点）、②取り組んでいる（7点）、③やや取り組みが足りない（5点）、④非常に取り組みが足りない（3点）、⑤全く取り組みが足りない（0点）と5段階とし、標準を②として授業毎に提出したリアクションペーパーに基づいて、適宜気づいた学生には指導を行い、期末評価に反映する。	随時、演習への参加状況について、必要に応じて教員から個別に指導を行う。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	小テストを授業内で実施する。テストは、1回10問（5点満点）とし、全6回の合計点を達成度評価に加算する。テスト範囲等については、別途授業内で説明する。再テストによる加点は実施しない。	テスト結果は、追って評価し授業内でフィードバックする。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	宮澤江梨子、◎面接実技試験評価担当：渡邊隆文・田村正人・宮村りさ子						
教員の実務経験	梅沢佳裕：ソーシャルワーカーとして7年の実務経験。渡邊隆文：社会福祉士取得後6年の臨床経験。田村正人：田村正人：社会福祉士取得後8年の実務経験。宮村りさ子：精神保健福祉士取得後13年間、社会福祉士取得後12年間の実務経験。						
実践的授業の内容	授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士・精神保健福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
その他	今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。全15回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。「ソーシャルワーク実習 a」または「ソーシャルワーク実習 A」の履修希望者は必ずこの科目を履修すること。						